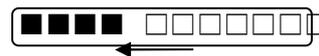
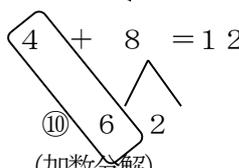
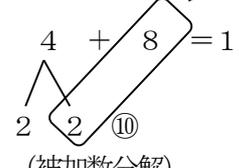


1 本時のねらい

1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算で、ブロックで10のまとまりをつくる活動を通して、被加数を分解して「10といくつ」にすればよいことに気づき、被加数を分解して計算する方法を理解することができる。

2 本時の展開 (3/8)

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つかむ	<p>1 問題を読む。</p> <p>りすがきのうえに4ひきいます。そこに8ひききました。みんなでなんびきになったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題から分かっていること、聞いていること、式を確認する。
考える	<p>2 課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出てくる数は、4と8。「きました」だから、たし算。式は、$4+8$。 今までは、前の数の方が9や8だけれど、今日は後ろの数が8。 <p>うしろのかずが大きいたしざんのしかたをかんがえよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブロックの操作によって、前時との違いに気付かせ、課題を生み出す。 10の補数が視覚的に捉えられやすいように、ブロックケースを使用したり、ブロックの色を被加数と加数で変えたりする。
	<p>3 個人追究をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロックで$4+8$の操作をする。 式や図(さくらんぼ図)を書いて計算する。 <p>ア  イ </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>$4 + 8 = 12$</p>  <p>(加数分解)</p> <p>4はあと6で10 だから8を6と2にわけて $4+6=10$ $10+2=12$</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>$4 + 8 = 12$</p>  <p>(被加数分解)</p> <p>8はあと2で10 だから4を2と2にわけて $2+8=10$ $2+10=12$</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ブロックの操作と、図を対応させながら、計算するよう指導する。 どちらか1つのやり方でできたら、もう1つのやり方も行い、考え方の違い(加数分解・被加数分解)や共通点(10のまとまりをつくる)に気付かせる。
ふかめる	<p>4 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> アは8を6と2に分けているけれど、イは4を2と2に分けている。 どちらも、10のまとまりをつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> どちらか1つのやり方でできたら、もう1つのやり方も行い、考え方の違い(加数分解・被加数分解)や共通点(10のまとまりをつくる)に気付かせる。 小さい数の方を分けて、10をつくる方が簡単だということに気付かせる。
まとめる	<p>5 $3+8$の計算のしかたをブロックと図で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3の方が小さいから、3を分ける。 8は、あと2で10だから、3を2と1に分けて、$2+8=10$。$1+10=11$。 	<p>評価規準</p> <p>被加数を分解して「10といくつ」にすればよいことに気づき、被加数を分解して計算する方法を理解している。</p> <p>(知識) 発言・ノート</p>
	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>小さいほうのかずをわけて10のまとまりをつくると、はやくできる。</p>	
	<p>7 確かめ問題をやり、ペアで説明し合う。(4+7)</p> <ul style="list-style-type: none"> $4+7$ 4の方が小さいから、4を分けて10のまとまりをつくる。 7はあと3で10だから、4を3と1に分けて、$3+7=10$。 $1+10=11$。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア交流では、聞き手は「小さい方の数を分けて、10のまとまりをつくる」という言い方ができているかを評価する。